

令和8年度 鬼塚小学校だより

創

～クリエイト～
CREATE

えがお しあわせ みらいをつくる



唐津市立鬼塚小学校
2026年5月15日(金)

第3号

文責 校長：栗本 洋二



鬼塚小 Web

よさを見つけて認め合おう

鬼塚小 Smile Infinity Project
笑顔(えがお) 無限大(おげんだい) プロジェクト
計画(けいかく)

4月最終日の全校朝会。校長から、みんなで取り組む学校目標について話しました。

今年の目標は「えがお しあわせ みらいをつくる 鬼塚小学校」。

みんなでこの目標を達成するために取り組むことを3つ考えました。この取組・計画は、令和「8」年度が「無限大∞=インフィニティ」であることから、鬼塚小「笑顔無限大計画=スマイル インフィニティ プロジェクト」と名付けました。

今回は3つの中のひとつ「よさを見つけて認め合おう」について取り上げます。

●よさを見つけて認め合おう

友達のよさを見つけて伝えよう。友達から自分のよさを見つけてもらおう。「さくらカード」で伝え合うとみんなが幸せになれるよ。幸せを集めて今年も「サッキーの桜の木」を満開にしよう。

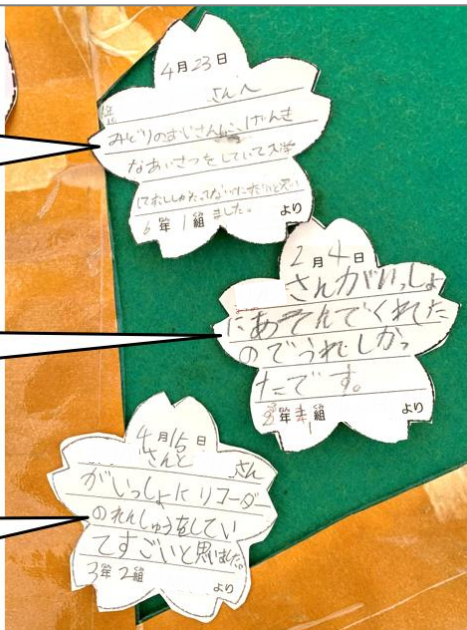
鬼塚小学校では、「さくらカード」で友達のよさを見つけて伝え合う活動を続けてきました。友達のよいところや頑張っていることを見つけてカードに書いたら、お昼の放送で担当の委員会からいくつか紹介してくれます。教室から拍手が聞こえるととても嬉しい時間です。

去年はサッキーの桜の木が、1247枚のさくらカードで満開でした。今年は始まったばかりでまだ少ないですが、すでに何枚か書いてくれたものがありましたので紹介します。

みどりのおじさんにげんきなあいさつ
をしていて、入学してすこしかたっ
ていないのにすごいと思いました。

いっしょにあそんでくれたので
うれしかったです。

いっしょにリコーダーのれんしゅうを
してすごと思いました。



← このように、今年もさくらカードで、お互いのよさを見つけて認め合いましょう。

そしてその先に「えがお しあわせ みらいをつくる 鬼塚小学校」をみんなで目指していきましょう。

新年度、1年生を加えたフルメンバーでの集会はこの日が初めてでしたが、みんな落ち着いて、よく話が聞けていました。次回は2つ目「自分が主役の学びをつくろう」について話す予定です。

みなさんよろしくね ～1年生を迎える会～

5月1日に1年生を迎える会を行いました。入学式は儀式的行事。来賓や保護者の皆様ほかたくさんの人達に囲まれ緊張のなか執り行われましたが、今度は子ども達と先生だけのアットホームな会。笑顔いっぱい、とても良い時間を過ごすことができました。

歓迎の言葉を言ってくれた2年生。成長を感じました。驚いたのは1年生からのあいさつ。びっくりするぐらいハキハキとすばらしかったです。

じゃんけん列車は全校入り混じっての生き残りゲーム。負けたほうが勝ったほうの後ろにつながります。こうした「ふれあい」を通して、いっそう心の距離も縮まったのではないのでしょうか。あらためて、異学年交流のよさを感じる一日となりました。



大にぎわいの じゃんけん列車

想像の翼を広げて ～「語り手」 随時募集中!～



今年も始まりました、読み語り。

鬼塚小には、本を選定し子ども達の前でお話を読んでいただけるボランティア団体があります。読み語りの会「マザーグース」です。毎月2回ほど、低学年と高学年に分けて教室までお話しに来てくださいます。長く活動を続けていただいております、平成20年度には市教育長表彰も受賞されています。現在も、ロコミ(?)により「語り手」が昨年度から5名も増えたとのこと。ますます精力的にご活動いただいております、ありがたい限りです。

何より、子ども達みんな読み語り大好きです。デジタル全盛の時代ですが、アナログな読み語りには何やら子ども達を惹きつける強い引力がありそうです。

テレビやネットを通じて、望まずとも映像(イメージ)を押し付けられる昨今、子ども達の「想像する」「脳がイメージを創り出す」機会が奪われはしないか、少々心配です。だからこそ、読み語りや読書には、AIの時代にこそ必要な想像力・創造力を育む可能性を感じています。

ところで今、校長室前に日替わりで「まんが日本昔ばなし」を1話ずつ置いています。が、高学年でも「鶴の恩がえし」を知らない子がいて、少々驚きました…。

ゴールデンウィーク明けから日差しの強い日が増えてきました。

早くも熱中症対策が必要のようです。

登下校中は、ぜひ帽子を着用するようお声掛けをお願いします。日傘を差すことも認めています。ネッククーラー(首に巻くタイプの保冷剤)についても、保護者判断で使用可能です。

